

石巻日日新聞

NEWS

復興への足取りは
生の報道で！ 電子版

電子版購読料は、ひと月 1,000 円

NEWS10件

2011/10/20 「被災者の心のサポート拠点」…からころステーション開所

2011/10/20 石日杯秋季新人少年野球大会 組み合わせ決まる

2011/10/20 菊池寛賞 石巻日日新聞社が受賞

2011/10/19 応募1万3千超 家電製品に人気…復興支援物資の抽選

2011/10/19 青年海外協力隊OB 渡波小避難所で閉所式

2011/10/19 日本語教室 7か月ぶりに開講

2011/10/18 年賀はがき到着…震災の影響で扱い減少

2011/10/18 復興への第一歩踏む…高砂長寿味噌本舗が県鑑評会で1位獲得

2011/10/18 「震災の記憶映像に」…ドキュメンタリー映画予告篇を上映

2011/10/17 「復旧復興へ前進」…新北上大橋が供用開始

「被災者の心のサポート拠点」…からころステーション開所

2011/10/20

被災者の心のサポートに中長期的に取り組むための活動拠点「からころステーション」が19日、JR石巻駅近くの石巻市鑄銭場に開所した。精神科医らでつくる一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ(原敬造代表)が同市の委託を受け、精神保健分野の包括的な地域支援を行っていく。

避難生活の長期化に伴って、被災者のPTSD(心的外傷後ストレス障害)や仮設住宅での孤独死などが懸念される。これらを予防するため、同法人はステーションを拠点とした仮設住宅への訪問支援や被災者の心の相談会を実施。さらに保健師など支援者を支援するための研修会を行い、市内の精神保健の底上げと医療への結び付けを図る。

震災後の精神保健分野の訪問支援活動は、日本精神神経科診療所協会からの応援を含め、医師や看護師、心理士、ケースワーカーらがボランティアで展開。継続して取り組む必要性から、原代表らが6月26日に法人を立ち上げた。

ステーションによる心のサポート拠点事業は市の助成事業で、市が支え合い拠点センターなどで取り組む被災者の見守り活動の一環。“からころ”は体と心の相談所に由来する。

開所式には市や県をはじめ、医療福祉の関係者が出席。原代表は「皆さんと手を携え、被災地の医療福祉を考えていきたい」とあいさつした。記念講演もあり、法人理事で石巻市中里の宮城クリニック院長の宮城秀晃さんが震災体験を回顧。住民が十分な医療が受けられる環境になるまで、継続して訪問支援などに当たる考えを述べた。



【写真】 開所式であいさつを述べる原代表